

2017年2月28日

トッパンフォームズ、AIを活用したサービス提供で Cogent Labs と資本・業務提携

一手書き日本語文字認識からスタートし、AI活用範囲を拡大へ

デジタルハイブリッドのトッパン・フォームズ株式会社（以下「トッパンフォームズ」）は、人工知能（AI）を活用した各種サービスの提供に向け、最先端のAI研究を活用して技術開発を行う日本発のスタートアップ企業、株式会社 Cogent Labs（本社：東京都渋谷区、代表取締役：飯沼 純、エリック ホワイトウェイ、以下「コージェント ラボ」）と資本・業務提携契約を締結したことをお知らせします。トッパンフォームズは、コージェント ラボが第三者割当増資により発行する株式の一部を引き受けるとともに、当社が提供する業務効率化を主眼とするさまざまなサービスへコージェント ラボが持つAI技術の活用を推進します。

その第一弾としてディープラーニング技術の活用により、手書き文字・印字において業界最高水準の文字認識率を実現する「Tegaki（テガキ）」を活用したビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）サービスの提供に取り組みます。具体的には金融機関の口座開設申込書などの各種手書き申込書、税公金に関する各種帳票などをターゲットとした文字認識・デジタルデータ化に活用します。さらに長年帳票に関わるビジネスを展開してきたトッパンフォームズが確立した科学的なアプローチなどによる帳票改善ソリューションと組み合わせ、手書きの記入漏れや記入ミスを抑止することで業務プロセスの効率化につなげていきます。

【提携の目的と今後の展開】

今回の資本・業務提携はビジネスの実務を通じてAIのさらなる可能性を広げていくことが狙いです。世界10カ国以上から採用したりサーチャーやエンジニアからなるコージェント ラボのAIエンジンの特長は、これまでの教師あり学習を前提とするニューラル・ネットワークに比べ、教師データへの依存度が低い点と応用領域の広さにあります。そのため手書き文字認識に留まらず、画像や音声などの情報も知覚でき、データとして次のビジネスに活用できると期待されます。

トッパンフォームズは堅牢なセキュリティ体制下で預託情報を管理・運用し、1通ごとに内容の異なった紙の通知物をつくるデータ・プリント・サービス（DPS）に加え、近年は企業の事務業務の受託をするBPOサービスやICT（情報通信技術）を使ったデジタルの通知サービスにも注力しています。これらのサービスにAIを積極的に導入することで、紙とデジタルの両面からサービス提供が可能なデジタルハイブリッド企業としての展開を加速していきます。

またトッパンフォームズが長年得意先企業の業務効率化をサポートすることで蓄積してきた業務経験・ノウハウにコージェント ラボが提供する応用領域の広いAIエンジンを組み合わせることで企業の業務革新につながる新たなビジネス基盤の創造につなげていく考えです。

以上

【参考情報】

■株式会社 Cogent Labs について

社 名：株式会社 Cogent Labs

本社所在地：東京都渋谷区代官山町20-23 TENOHA LAB

代 表 者：代表取締役 飯沼 純

代表取締役 エリック ホワイトウェイ

事 業 内 容：最先端の人工知能研究・開発とその関連ソリューションの提供

U R L：<https://cogent.co.jp/>

※ 「DPS」は、トッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。

※ 「デジタルハイブリッド」は、トッパン・フォームズ株式会社にて、商標登録出願中です。

※ その他記載された製品名などは、各社の登録商標あるいは商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 広報部 TEL:03-6253-5730